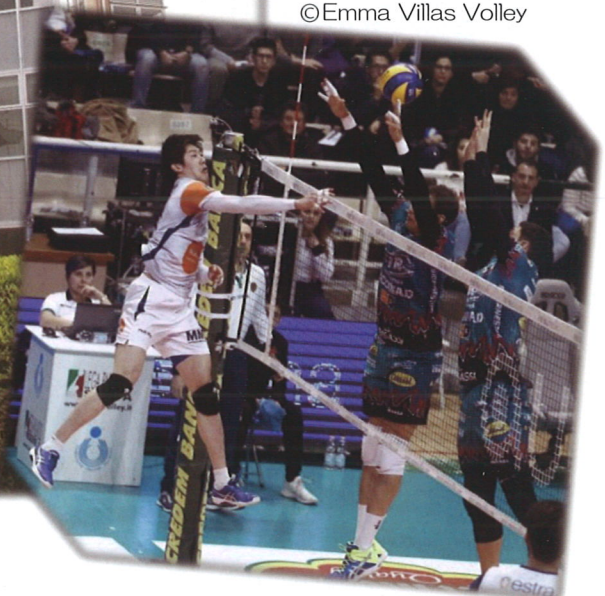




©中嶋企画

©Emma Villas Volley



特集

スポーツの星城

—— 高等学校編 ——

★世界で活躍する卒業生★

学園アラカルト

星城懇話会 教育講演会開催 / 赤岡功学長 受勲報謝公開講演会実施

バレーボール

石川 祐希さん

(2014年卒業 49回生)

“Emma Villas Siena”所属

昨年、大学を卒業し、現在はイタリアの“セリエA”というプロリーグで、プロの選手としてプレーしています。

星城高校は、全国大会優勝の実績や専用体育館があり、競技に専念できる環境でバレーボールができることを楽しみに入学しました。

高校在学中は、部活がすべてでした。監督やチームメイトに恵まれて、2年連続3冠達成という過去にない結果を残せたことは、最高の思い出です。

※イタリア・セリエA:ポーランド、ロシア、ブラジルと並ぶ世界最高峰のプロバレーボールリーグの1つ。世界中から多くのトップ選手が集まりプレーする。

©Emma Villas Volley



スポーツはゲームです。まずはその競技が好きという気持ちと、楽しむことが一番大切です！同時に、スポーツは勝負です。勝つためには選手一人ひとりのスキルが高くなければなりません。バレーボールは一人のチカラだけでは絶対に勝てません。自分が調子の悪い時は調子の良い選手に助けってもらったり、逆に仲間がミスをした時は、自分が声をかけることができます。各々が自分自身とストイックに向き合いながら、「チーム全員で戦っている」という気持ちを強く持って、一つのチームになってゲームに勝つ。それがバレーボールの醍醐味であり、その楽しさや面白さ、難しさを学んだ3年間で

した。星城で出会った素晴らしい仲間や、たくさんの方からの応援やサポートがあったからこそできた経験であり、プロとして生きる今にも繋がっています。



©Emma Villas Volley

©Emma Villas Volley



後輩へ一言

どんなことでもいいので、自分が好きなこと、熱中できることを見つけてチャレンジしてほしいです。きっと、新しい発見や次のチャンスに繋がります。そして、自分の近くには、協力してくれる仲間や、応援してくれる人が必ずいることを忘れないでください。高校での3年間という、今しかない大切な時間を全力で楽しんでください！



バレーボール

深津 英臣さん

(2009年卒業 44回生)

“パナソニック パンサーズ”所属



星城高校卒業後、大学に進学し、現在は「パナソニック パンサーズ」に所属し、プレーしています。

高校時代、憧れだった春高バレーに出場し、センターコートに立ったときの感動は、今でも鮮明に覚えています。

バレーボールの選手になり、多くの方と出会い、仲間とすばらしい経験をする事ができ、良かったと思っています。プレーや結果が思うようにいかない時もありますが、それを乗り越えたときにやりがいを感じます。

後輩へ一言

今しかない瞬間を大切に楽しんでください。

高校生の時、毎日バレーボールノートに書いていた「感謝の気持ちを忘れずに」という言葉が、今大人になってつくづく大切だと感じています。

今は、東京オリンピックに出場して活躍するためにも、目の前のバレーボールにしっかり向き合い、一生懸命頑張っています。



星城高校時代からアジアトライアスロン選手権に出場し、現在はトヨタ車体で実業団選手として活動しています。

星城高校在学中に培われた挨拶や人に対する気配りは、社会人となって、大変役に立っています。また、クラスの友人との会話や、楽しい先生の授業が、高校時代の思い出として強く残っています。

トライアスロン選手としてのやりがいは、夢を持って、その夢にチャレンジできることです。

今は、東京オリンピックに向け、国内、海外大会に出場し、オリンピック選手に選ばれるよう頑張っています。



後輩へ一言

夢や目標を持って突き進んでください！

トライアスロン

谷口 白羽さん

(2013年卒業 48回生)

トヨタ車体 所属



レーシングドライバー

中嶋 一貴さん

(2003年卒業 38回生)

世界耐久選手権、全日本スーパーフォーミュラ選手権、スーパーGTに参戦



レーシングドライバーのやりがいは、シーズンであれ、レース単体であれ、結果を残すことです。逆境に遭ったときは、目の前の課題に、自分ができることをやりきるという強い信念で立ち向かいました。

星城高校在学中から続いている友達との関係は貴重な財産です。また、高校で培われた「忍耐力」は今レーシングドライバーとなって大変役に立っています。

後輩へ一言

皆さんそれぞれに目標、やりたいことがあると思いますが、それに対して自分の課題、やれることを自分の頭で考えて実行していってもらえたらどんな結果であれ成長できると思います。

©中嶋企画



後輩へ一言

後悔が残らないように、高校生活を満喫してください。

星城高校を卒業後、大学に進学し、現在はレーシングドライバーとして、スーパーGTに参戦しています。

高校時代の先生方のおかげで、大学受験を頑張ることができました。高校から大学にかけて得た一連の経験は、今の自分の価値観を形成する上でとても重要なものでした。

レーシングドライバーは、毎年受験が続くような感じでとても大変ですが、自動車メーカーやタイヤメーカー、クルマの整備をしてくれるチームと一丸となって、課題をクリアしていくことにやりがいを感じます。逆境だらけですので、少々のごことでへこたれることはありません。

「今しかできないことをやる」を信念に、「今」を頑張っています。

レーシングドライバー

中嶋 大祐さん

(2007年卒業 42回生)

スーパーGTに参戦



©中嶋企画

アメリカンフットボール

黒川 晴央さん

(2007年卒業 42回生)

“アサヒ飲料チャレンジャーズ”所属



現在、アサヒ飲料株式会社に勤めながら、「アサヒ飲料チャレンジャーズ」で、アメリカンフットボール選手として活動しています。

星城高校時代は、野球部の一員として部活と勉強に励み、夏の愛知県大会はベスト8まで進むことができました。

高校時代、どんなに苦しい時でも、常に目標や目指すべき姿を見据えて努力したこと、また、礼儀を非常に重んじた指導を受けたことは、今、大変役に立っています。

後輩へ一言

今、目標を持って動くこと、今、できることを精いっぱい頑張ってください。今しかできないことが、将来の自分の夢に繋がると思います。



大学入学後、アメリカンフットボールを始めましたが、常に高い目標を持ち続け、筋力トレーニングにも励み、強い身体を目指しました。日本代表となったこと、本場アメリカと戦ったことが、選手となって良かったことです。

努力、自信、そして夢が信念です。努力しなければ、自分を信じることはできないし、自分を信じなければ夢は叶えられないと思っています。

サラリーマンとしてアサヒ飲料の会社で業界No.1を目指し、アメリカンフットボールでも日本一を目指し頑張ります。



後輩へ一言

自分の可能性を、まずは自分自身が信じてあげてください。そして努力をすること。それをやめなければ、自分で道を切り開いていけるとおもいます。

ソフトボール

二瓶(旧姓 馬淵) 智子さん

(2000年卒業 35回生)

小学生からソフトボールを始め、星城高校3年生の時は、キャプテンとしてインターハイに出場し3位入賞を果たしました。卒業後、実業団に進み、2008年の北京オリンピックでは4番打者として3本塁打を放ち、金メダルを獲得しました。

実業団引退後は今年の1月まで、星城大学学長特別補佐・ソフトボール部コーチとして後進の指導にあたっていました。

星城高校では、ソフトボールの技術だけではなく、礼儀や心遣い、周りの方への感謝の気持ちなどを教えていただきました。これらの経験は、社会人となった今でも大変役に立っています。

ソフトボールを通じて多くのことを学ばせていただけたので、今後は育児をしながら、正式種目として再び採用されることとなった2020年東京オリンピック、またその後に向けて、ソフトボールの普及活動を行い、今までの恩返しをしていきたいと考えています。

学園 アカルト

広島市から星城大学に平和のバラ寄贈

星城大学



【広島市職員の皆様と】

穂木の輸送、育成には専門的な知識が必要であり、慎重に愛知県内へ輸送。現在は武豊のバラ園で育成いただいており、5月頃には本学に到着。本学から平和の発信を行っていく事となります。

【バラ:アンネ フランク】

昨年秋、本学赤岡学長の秋の受勲に関係し、広島市松井市長と面談された際の話から、広島平和記念公園にあるバラ及び長崎の永井博士宅の庭で被爆し、今は広島市の平和大通りにあるバラの穂木が本学に寄贈される事となりました。2月13日早朝より広島市緑政課、秘書課、維持管理課の皆様と本学職員とで剪定作業を実施、無事に初の県外持ち出しが実現しました。



【広島原爆ドーム】

第2学年 台湾修学旅行 慈明高級中學との交歓会

星城高等学校

平成30年度、星城高校では初めての台湾修学旅行を実施しました(仰星コースは、ベトナム修学旅行を実施)。

『広く目を世界に注げ』は創立者石田鑑徳先生のおしえであり、『世界観の確立』は本校建学の精神です。今回の修学旅行は、台湾を知る、そして台湾から見た日本を知る絶好の機会となりました。



【華やかなパフォーマンス】



【左:文宏達校長 右:四方元校長】



【慈明高級中學の前で集合写真】

慈明高級中學との交歓会では、初めに文宏達校長先生より歓迎の言葉をいただきました。そして、生徒たちによる素晴らしいパフォーマンスが続きます。お互いの校歌を声高々に歌い上げた時、生徒たちの心は既に通じ合っていたかのようでした。

その後、慈明高級中學ならではの特色を活かした交流プログラムに参加して、グローバルなコミュニケーションをはかることができました。

お世話になった慈明高級中學のみなさんに、感謝と敬意を表します。「多謝！再会！」

健脚会

星城中学校

星城中学校恒例の「健脚会」を2月1日(金)に行いました。昨年度は、雪が残っていたためにコースを短く変更しましたが、今年度は快晴の中で実施することができました。

コースは牧野ヶ池緑地公園コース約40kmです。途中のチェックポイントまで走り続ける生徒もいれば、お互いに励まし合ってゴールを目指す生徒たちもいました。それぞれが各自の目標を決めて挑みました。



【みんな頑張りました】

ゴールの学校には、寒さを感じさせないくらいの笑顔で帰ってきました。疲れている表情は見せるものの元気いっぱいでした。ゴール後には、保護者の方が作ってくださった豚汁をおいしくいただきました。みんなよくがんばりました。



【健脚会】

豆まき

星の城幼稚園

2月3日は節分です。幼稚園では、園児全員で邪気を追い払い「この1年病気や災いがないように」との願いを込めて節分の豆まきをしました。

園庭に大きな鬼が現れると、「鬼は外！ 福は内！」と大きな声で鬼に豆をぶつけます。

豆まきの後は、自分たちでご飯に具を入れて、のりで巻き「無病息災、商売繁盛」をもたらすとされ縁起の良い『恵方巻』を作りました。「しゃべる」と運が逃げてしまうと言われるため、健康で幸せに過ごせますようになどの願い事をしながら、今年の恵方「東北東」を向いてみんな「無言」で一気に食べていました。



【豆まき】



【恵方巻をほおぼりながら】

卒業証書授与式

星城大学リハビリテーション学院



【卒業証書授与式】

3月1日(金)、平成30年度卒業証書授与式が挙行されました。卒業生にとって、この3年間は決して楽な時間ではなかったと思います。日々膨大な量の勉強に追われ、臨床実習では自分の力のなさに悩み、何度も壁にぶつかったことでしょう。それでも最後にこうしてこの場に立つことができたのは、学生一人ひとりが力を出し切り、精一杯頑張ってきた証です。



【頼もしい姿】

卒業生は4月からそれぞれの道を歩んでいきますが、星城大学リハビリテーション学院で学んだ3年間の誇りに、施設や地域を問わず、患者様から信頼される理学療法士として活躍してくれることを心から願っています。

【努力の証です】

星城懇話会 藤井聡太七段の師匠 杉本昌隆八段 教育講演会開催

2月18日(月)、星城大学 名古屋丸の内キャンパスにおいて、「私の指導法」と題して、現役の将棋棋士で、藤井聡太七段の師匠でもある杉本昌隆八段をお招きして「星城懇話会教育講演会」が開催されました。

星城懇話会浦野廣高会長、星城懇話会石田正城名誉会長、名古屋石田学園理事長の挨拶の後、講演会が始まりました。



【熱心に語る杉本昌隆八段】

杉本八段は、講演で、個性が大事であること、礼儀、節度、そして自分で考えることの大切さを語られました。なかなか知ることが出来ない将棋の世界、またそこで育まれた師弟関係について、様々なエピソードとともにお人柄・人間性がにじみ出たお話で、ときにユーモアが交じると会場が笑いに包まれました。

参加者からも「大満足」の声をたくさんいただき、大好評の講演会となりました。



【講演会は大盛況でした】

星城大学 赤岡功学長 瑞宝重光章受勲 報謝公開講演会



2月16日(土)、星城大学4号館において、星城大学赤岡功学長の瑞宝重光章受勲報謝公開講演会が開催されました。オープニングでは、東海市ふるさと大使の春風弥里様(元宝塚歌劇団)が「すみれの花咲く頃」などを歌われ、まさに花を添えていただきました。



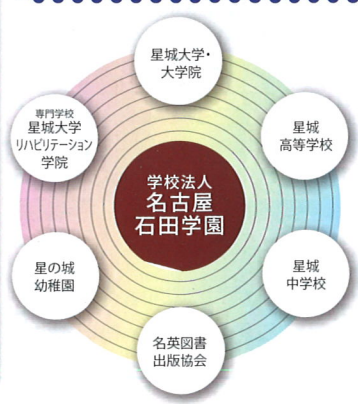
【学長の講演を熱心にお聴きいただきました】

赤岡学長からは、はじめに、皇居で受けた受勲の様子について報告がありました。講演は、「細井平洲師・上杉鷹山公の経済政策は国連国際目標SDGsの先駆だった」と題して、東海市出身の江戸時代の儒学者 細井平洲師の教えを受けた米沢藩主 上杉鷹山公が行った政策の目的と、現在世界的に注目されている「SDGs」の目標について、具体的に説明されました。

講演会の後は、懇親会に移り、参加者の方々は東海市民謡(踊)保存会の方々の踊りを鑑賞し、お茶とお食事をいただきながら、ご歓談を楽しまれました。



【左：春風弥里さん 右：踊曲目「如來山人」】



学校法人
名古屋石田学園

〒460-0008
名古屋市中区栄1丁目14番32号
Tel: 052-221-8921
Fax: 052-689-6003
URL: <http://www.n-ishida.ac.jp/>